

ノーリツ、ESG 指数「FTSE Blossom Japan Index」 の構成銘柄に 3 年連続で選定

湯まわり設備メーカーの株式会社ノーリツ（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：竹中 昌之）は、環境・社会・ガバナンス（ESG）について優れた対応を行っている日本企業を対象とした投資指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に 3 年連続で選定されました。

「FTSE Blossom Japan Index」は、グローバル インデックスプロバイダーである FTSE Russell 社により ESG（環境、社会、ガバナンス）の評価が高い企業のパフォーマンスを測定するために設計された指標です。ESG について優れた取り組みを行う日本株で構成され、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。また、同社による「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」においても、2022 年 3 月の組成当初から継続して選定されています。

日本の公的年金を運用する GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用する日本株の ESG 指数のうち、当社は「FTSE Blossom Japan Index」、「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」、「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」の 3 つの構成銘柄に選定されています。

ノーリツグループのサステナビリティ経営

当社グループは、2024 年 2 月に中期経営計画「V プラン 26」を公表しました。「V プラン 26」では、売上高や利益など財務諸表に反映される「財務価値」と、将来的に効果を発揮し財務諸表に表れる「未財務価値」の両軸によるサステナビリティ経営を推進しています。さらに、事業活動を通じて「サステナビリティ」「ウェルビーイング」「ケア」の 3 つの価値を世界の人々や社会に提供し、豊かな暮らしと地球への貢献を両立できる社会の実現を目指しています。

今後もこれらの取り組みを通じて、グループミッション「新しい幸せを、わかすこと。」に掲げる「新しい幸せ」をお届けしてまいります。

ノーリツサステナビリティサイト URL

<https://www.noritz.co.jp/company/csr/>

ニュースリリースに記載されている内容は、発表時点のものです。

■ GPIF が採用する構成銘柄のうち、ノーリツが組み込まれている ESG 指数

■FTSE Blossom Japan Index について

FTSE Russell により構築されている ESG 指数。FTSE4Good Japan Index の ESG 評価スキームを用いて、ESG について優れた対応を行っている と判断された日本企業銘柄により構成されています。

【参考】 FTSE Blossom Japan Index Series

<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

■FTSE Blossom Japan Sector Relative Index について

FTSE Russell により構築されている ESG 指数。各セクター内において相対的に ESG の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。

■S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数について

TOPIX（東証株価指数）の構成銘柄を対象として、環境評価のパイオニア的存在である Trucost 社による炭素排出データをもとに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが構築している指数。世界産業分類基準®（GICS®）の各産業グループにおける売上高当たりの炭素排出量や GHG（温室効果ガス）排出に関する情報開示状況によって構成銘柄のウェイトを決定しています。

【参考】 S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数

<https://www.jpx.co.jp/markets/indices/carbon-efficient/>